

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成31年1月24日 (2019.1.24)

【公表番号】特表2018-500324(P2018-500324A)

【公表日】平成30年1月11日 (2018.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2018-001

【出願番号】特願2017-532057(P2017-532057)

【国際特許分類】

C 07 C 311/16 (2006.01)

A 61 K 31/18 (2006.01)

A 61 P 5/00 (2006.01)

A 61 P 9/00 (2006.01)

A 61 P 11/00 (2006.01)

A 61 P 3/00 (2006.01)

A 61 P 17/00 (2006.01)

A 61 P 19/00 (2006.01)

A 61 P 25/00 (2006.01)

A 61 P 13/12 (2006.01)

A 61 P 15/00 (2006.01)

A 61 P 27/02 (2006.01)

A 61 P 27/16 (2006.01)

A 61 P 29/00 (2006.01)

A 61 P 1/16 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

A 61 P 37/08 (2006.01)

A 61 P 17/02 (2006.01)

A 61 P 31/04 (2006.01)

A 61 P 7/04 (2006.01)

A 61 P 1/04 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 P 3/10 (2006.01)

A 61 P 25/04 (2006.01)

C 07 C 311/29 (2006.01)

【 F I 】

C 07 C 311/16 C S P

A 61 K 31/18

A 61 P 5/00

A 61 P 9/00

A 61 P 11/00

A 61 P 3/00

A 61 P 17/00

A 61 P 19/00

A 61 P 25/00

A 61 P 13/12

A 61 P 15/00

A 61 P 27/02

A 61 P 27/16

A 61 P 29/00

A 61 P 1/16

A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 37/08
 A 6 1 P 17/02
 A 6 1 P 31/04
 A 6 1 P 7/04
 A 6 1 P 1/04
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 A 6 1 P 3/10
 A 6 1 P 25/04
 C 0 7 C 311/29

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

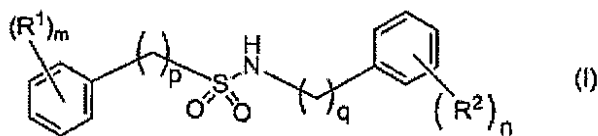
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I) の化合物

【化 1】



[式中 :

m は、1 から 3 までの整数であり ;

n は、0 から 3 までの整数であり ;

p は、0 から 2 までの整数であり ;

q は、0 から 2 までの整数であり ;

R¹ はそれぞれ、独立して C 1 - C 3 アルキル - X - から選択され ;

X はそれぞれ、独立して直接結合、O、および S から選択され ;

R² はそれぞれ、独立して C 1 - C 3 アルキル - Y -、およびフェニル - (C H₂)_z - Y - から選択され ;

Y はそれぞれ、独立して O および S から選択され ;

z はそれぞれ、独立して 0 および 1 から選択される]

またはその医薬的に許容できる塩を含む、

内分泌障害、心血管障害、呼吸器障害、代謝障害、皮膚障害、骨障害、神経炎症性障害、腎疾患、生殖障害、眼および / または水晶体を冒す疾患、ならびに / あるいは内耳を冒す状態、炎症性障害、肝疾患、痛み、癌、アレルギー性障害、外傷性障害、敗血症性、出血性およびアナフィラキシー性のショック、胃腸系の疾患または障害、異常な血管新生および血管新生依存性状態から選択される、ニコチンアミドアデニンジヌクレオチドリノ酸オキシダーゼ活性に関連する状態または障害の治療用の医薬組成物。

【請求項 2】

X はそれぞれ、独立して直接結合および O から選択される、請求項 1 の組成物。

【請求項 3】

p は 0 である、請求項 1 または請求項 2 の組成物。

【請求項 4】

Y はそれぞれ O である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項の組成物。

【請求項 5】

n は 0 または 1 である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項の組成物。

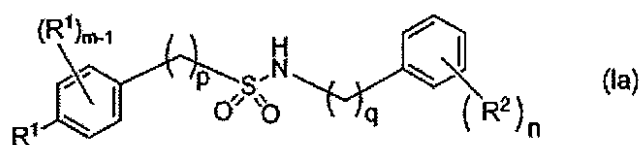
【請求項 6】

R¹ はそれぞれメチルおよびメトキシから選択され、R² はそれぞれエトキシおよびベンジルオキシから選択される、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項の組成物。

【請求項 7】

化合物が式 (I a) の化合物

【化 2】

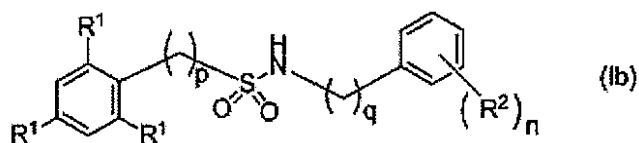


である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項の組成物。

【請求項 8】

化合物が式 (I b) の化合物

【化 3】



である、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項の組成物。

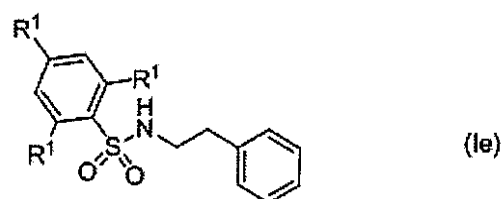
【請求項 9】

q は 2 である、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項の組成物。

【請求項 10】

化合物が式 (I e) の化合物

【化 4】

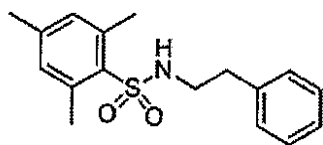


である、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項の組成物。

【請求項 11】

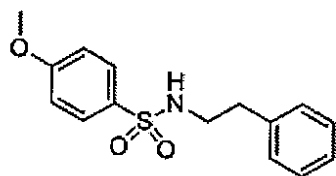
化合物が

【化 5】



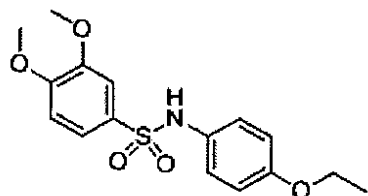
2, 4, 6 - トリメチル - N - フェニルベンゼンスルホンアミド ;

【化 6】



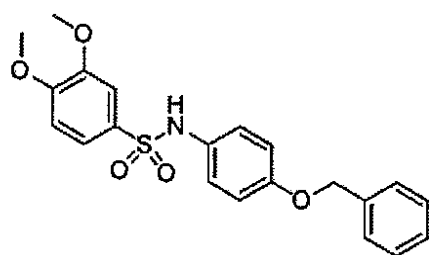
4 - メトキシ - N - フェネチルベンゼンスルホンアミド ;

【化 7】



N - (4 - エトキシフェニル) - 3 , 4 - ジメトキシベンゼンスルホンアミド ; および

【化 8】



N - (4 - (ベンジルオキシ) フェニル) - 3 , 4 - ジメトキシベンゼンスルホンアミド
から選択される、請求項 1 の組成物。

【請求項 1 2】

化合物が 2 , 4 , 6 - トリメチル - N - フェネチルベンゼンスルホンアミドである、請求項 1 1 の組成物。

【請求項 1 3】

障害が、糖尿病、脳卒中、線維症、たとえば肺線維症、神経障害性疼痛、および糖尿病合併症、たとえば神経障害から選択される、請求項 1 ~ 1 2 の組成物。

【請求項 1 4】

障害が脳卒中である、請求項 1 3 の組成物。

【請求項 1 5】

障害が線維症である、請求項 1 3 の組成物。